

【6月 水無月(みなづき)】

この月、雨が続く「梅雨」。七十二候では「梅子^{うめのみきばむ}黄」=梅の実が熟す時期であることからこのように呼ばれるようになりました。また、同時に、「^{げし}夏至」といって1年の中で日の出ている時間が最も長い日があります。^{つゆ}梅雨が明けると、日差しもますます強くなります。

<6月の行事>

20日ごろ 夏至